

平成25年度 福岡県退職公務員連盟 評議員会 開催

平成25年度の活動方針決まる



平成25年度の
運営方針を説明する
稲田事務局長



3月22日（金）、福岡天神センタービル3階第3会議室にて、各評議員（各支部長）が集まり、平成25年度福岡県退職公務員連盟評議員会が開催されました。
議長に糟屋支部の小川評議員が選出され、議事では第1号議案から第6号議案が審議されました。議案は全て承認され、福岡県退職公務員連盟の今年度の方針が決定し新たな一歩を踏み出しました。



平成25年度評議員会各議案

第1号議案	平成25年度運営方針・事業計画案
第2号議案	平成25年度予算案・支部分担金
第3号議案	平成25年度組織部活動案
第4号議案	平成25年度女性部活動案
第5号議案	平成25年度研修計画案
第6号議案	平成25年度福祉活動案 (賀寿該当者の報告)

平成25年度 福岡県退職公務員連盟 三部長会 開催

活発な意見交換が行われる

4月10日（水）、福岡天神センタービル4階第2会議室にて、平成25年度福岡県退職公務員連盟三部長会が開催され、各支部の事務局長、組織部長、女性部長が出席しました。
三部長会では、平成25年度福岡県退職公務員連盟の運営方針と行事等の確認、報告文書および資料の説明、今後の行事予定についての説明や支部活動を活性化するための意見交換が行われました。



平成25年度運営方針および行事等確認内容

①平成25年度運営方針並びに事業計画・行事予定について
②平成25年度予算並びに支部分担金について 〈納入方法・振込先・振込用紙〉
③組織の現状と組織強化の課題について
④平成25年度女性部活動について
⑤平成25年度研修計画について
⑥平成25年度福祉活動について（賀寿該当者の報告）

予算・分担金等を
説明する
光澤理事



組織部の活動等を
説明する
松田理事



平成25年度 運営方針並びに事業計画

運営基本方針

被用者年金一元化法案が成立し、私たちが自負していた職域加算の上乗せ部分は廃止された。しかし、現在受給されている者には、従来通り支給される。その他残された問題については、有識者会議に委ねられた。2年後の平成 27 年 10 月には、新しく名目を変えて支給される。しかし支給金は、労使折半の積み立て方式であるために現職公務員の負担は大きくなる。

私たちの生活を支えている年金制度、医療制度、介護制度、福祉制度などの社会保障制度の充実が必要不可欠である。しかし財政的に厳しいために消費税増税が決定された。私たちの生活を支える社会保障制度が、将来に亘り安定して運営されることを目指して新しく社会保障制度改革国民会議が創設された。本県連は、自助、共助、公助の理念の下に（1）年金をはじめ誰もが安心できる年金制度の構築を目指す。（2）社会保障制度（年金、医療、介護、福祉等）の充実のために、国民会議の審議の動向を重視しながら活動する。（3）在職高齢年金の支給停止基準の改善については、公務員の基準に見合うように働きかける。（4）日公連本部が、一般財団法人へと変容するので、その形態の認識を深めていく一方、地域の青少年健全育成行事や地域福祉に貢献する活動にも積極的に参加していく。これらの活動を通して組織の会員数を維持し、組織の拡大に努め、組織の活性化を図る。

具体的目標

- 1、公務員の年金制度については、公共に奉仕する有為な人材を確保する。
- 2、基礎年金の給付財源は、社会保険方式と国庫負担の2本立てを堅持する。
- 3、働く高齢者の年金減額基準の改善と雇用と年金の接続に留意し、65 歳定年制の実現を目指す。現職公務員の現状を理解し、今後は一層の連携を深める。
- 4、年金受給者の生活安定を図るために税負担の軽減に努める。
- 5、高齢者医療及び介護保険制度の改善・充実を図る。
- 6、会員相互の連携を深め、組織の意識高揚と拡充・強化及び退会防止に努める。
- 7、自立と連帯に立脚した会員相互の福祉増進と地域福祉へ積極的に参加する。
- 8、青少年健全育成と地域福祉に貢献する。

事業計画

- 1、公的年金制度に関する今後の動向に関心を深め、基礎年金財源の2本立て堅持の要望活動を強力に推進する。
- 2、公務員に有為な人材確保とその育成を求める要望活動を展開する。
- 3、高齢者の実態に配慮した高齢者医療・介護保険制度・税制等の負担が過重にならないように要望する。
- 4、65 歳定年制実現と再雇用制度の促進を関係方面に要望する。
- 5、年金や社会保障についての学習会を推進し、会員一人一人に浸透するようにする。「退職公務員新聞」を読み合い、意見交換をして新しい情報を得る。
- 6、会員間の励まし合い、助け合いを地域福祉活動として推進し、地域諸団体との交流を深める。
- 7、福利厚生活動を推進する中で長寿者を顕彰する。賀寿（白寿・米寿・喜寿）の表彰。
- 8、女性部活動の推進として、男女共同参画のもとに、一層の工夫を加えて社会貢献活動を推進する。
- 9、地域の青少年育成団体等に参加し、青少年の健全育成に積極的に関わる。
- 10、県連会報紙の発行を通して、会員の意思の疎通と交流を図る。
- 11、会員の減少により、県連会報紙の発行は財政的に困難になっている。そこで健全な広告収入によって広報紙を存続させ、広告収入は、広報紙の財源補填と会員の福利厚生面に役立てる。
- 12、退会防止と組織の充実を計画的に粘り強く取り組む。
 - （1）支部の組織部を中心にして、支部をあげて退会防止と組織の拡充に取り組む。
 - （2）60 歳代の退職者の意欲と行動力を組織の活性化に生かすため、積極的に勧誘する。

福岡県退職公務員連盟 支部長・事務局長・女性部長名簿

	支 部	支部長	事務局長	女性部長
1 区 A	東 区	吉浦 公生	堀川 道良	小串 保子
	博 多 区	力武 暁	力武 暁	丸山 美恵子
	中 央 区	佐田 昭雄	柴田 茂行	諸岡 春恵
	南 区			
	城 南 区	石橋 国生	塩原 義允	光澤 なみほ
	早 良 区	泊 秀治	高橋 章	鍋山 徳子
	西 区	八木 治海	松元 憲治	松元 英子
1 区 B	糟 屋	小川 進一	因 征四郎	一瀬 トシ子
	宗 像	七田 安男	七田 安男	
	糸 島	西 幸男	西 寛人	
	筑 紫 南	篠倉 邦男	永田 靖之	平島 ミヨ
	筑 紫 北	北嶋 司郎	重松 正治	奥山 静恵
	朝 倉	東野 博文	坂本 忠徳	鬼木 弘子
	八 幡	村尾 稔	宮房 史郎	岡崎 美津子
2 区	戸 畑	草木 正人	浦本 文朝	大野 英子
	若 松	永田 彰	野口 順弘	大庭 与志子
	直 方	白石 雄三	西河 武	日高 幸子
	嘉 穂 山 田	緒方 克州	田中 義春	松熊 満江
	飯 塚	吉松 利文	田中 博之	藤嶋 クスエ

	支 部	支部長	事務局長	女性部長
2 区	鞍 手	藤淵 明宏	齊藤 迪夫	宮本 紀美子
	遠 賀 中 間	入江 東樹	中葉 允雄	中野 陽子
	久 留 米	野口 義之	石井 秀樹	高木 榮美子
	大 牟 田	永井 暢一	境 健一郎	境 栄子
3 区	柳川みやま	松尾 秀樹	田中 保平	半田 眞弓
	八 女	樋口 順一郎	樋口 順一郎	立野 和子
	三 潁 大 川	富安 斗	久良木 直文	坂井 保子
	浮 羽	坂手 進	生野 忠生	馬淵 定子
	小 郡 三 井	長野 和夫	藤井 朝香	中垣 貴和子
	門 司	中尾 重彦	渡邊 守	乾 節子
4 区	小 倉	山内 芳時	岩谷 武利	河野 俊子
	田 川 市	道 富雄	重藤 喜彦	大間 麗子
	田 川 郡	白石 宏事	異儀田 実	宇野 淳子
	行 橋 京 都	有松 快俊	森下 弘明	猪本 泰子
	豊 前 築 上	小畑 眞太郎	霧村 義昭	遠藤 伸子
	県 小 学 校 退 職 校 長 会 代 表			鈴木 健一
県 中 学 校 退 職 校 長 会 代 表			城後 武史	
県 高 校 退 職 校 長 会 代 表			城後 善郎	
県 私 学 共 済 年 金 者 連 盟 代 表			内田 雄一郎	

平成24年度 歳入・歳出 決算

歳 入.....3,681,746			
項 目	予算 (円)	決算 (円)	対予算 (円)
1 繰越金	389,600	389,600	0
2 分担金	3,018,000	3,009,880	-8,120
3 繰入金	200,000	200,000	0
4 雑収入	90,000	82,266	-7,734
合 計	3,697,600	3,681,746	-15,854

歳 出.....3,382,132			
項 目	予算 (円)	決算 (円)	対予算 (円)
1 会議費	294,000	293,369	-631
2 一般旅費	550,000	508,605	-41,395
3 全国大会費	900,000	751,360	-148,640
4 負担金	850,000	822,000	-28,000
5 敬老福祉費	470,000	445,210	-24,790
6 学習会費	40,000	37,995	-2,005
7 広報活動費	130,000	87,857	-42,143
8 女性部活動費	40,000	40,000	0
9 組織活動費	40,000	39,882	-118
10 慶弔費	40,000	39,000	-1,000
11 通信費	15,000	14,748	-252
12 消耗品費	5,000	4,927	-73
13 印刷費	20,000	19,529	-471
14 役員手当	290,000	265,000	-25,000
15 渉外費	10,000	10,000	0
16 雑費	3,000	2,650	-350
17 予備費	600	0	-600
合 計	3,697,600	3,382,132	-315,468

3,681,746(歳入)-3,382,132(歳出)=299,614(平成25年度繰越)

特別会計収支決算.....2,387,881			
摘 要	収入 (円)	支出 (円)	残高 (円)
1 前年度繰越金	2,667,478		2,667,478
2 記念品料		80,000	2,587,478
3 繰り出し金		200,000	2,387,478
4 利息	403		2,387,881
合 計	2,667,881	280,000	2,387,881

平成25年度 歳入・歳出 予算

歳 入.....3,275,000			
項 目	25年度 (円)	24年度 (円)	前年比 (円)
1 繰越金	200,000	389,600	-189,600
2 分担金	2,835,000	3,018,000	-183,000
3 繰入金	200,000	200,000	0
4 雑収入	40,000	90,000	-50,000
合 計	3,275,000	3,697,600	-422,600

歳 出.....3,275,000			
項 目	25年度 (円)	24年度 (円)	前年比 (円)
1 会議費	250,000	280,000	-30,000
2 一般旅費	510,000	550,000	-40,000
3 全国大会費	750,000	900,000	-150,000
4 負担金	778,000	850,000	-72,000
5 敬老福祉費	450,000	470,000	-20,000
6 学習会費	30,000	40,000	-10,000
7 広報活動費	90,000	130,000	-40,000
8 女性部活動費	30,000	40,000	-10,000
9 組織活動費	30,000	40,000	-10,000
10 慶弔費	40,000	40,000	0
11 通信費	15,000	15,000	0
12 消耗品費	5,000	5,000	0
13 印刷費	20,000	20,000	0
14 役員手当	255,000	290,000	-35,000
15 渉外費	10,000	10,000	0
16 雑費	3,000	3,000	0
17 予備費	9,000	14,600	-5,600
合 計	3,275,000	3,697,600	-422,600

特別会計予算.....2,087,000			
摘 要	収入 (円)	支出 (円)	残高 (円)
1 前年度繰越金	2,387,000		2,387,000
2 記念品料		100,000	2,287,000
3 繰り出し金		200,000	2,087,000
合 計	2,387,000	300,000	2,087,000

日公連の会員である誇り

福岡県退職公務員連盟 会長 吉田 筑三



私自身、物忘れが多くなったり、耳が遠くなったり、腰が痛くなったりして、体力的に衰えを実感しています。地震や台風等の自然災害から身を守ることも大変ですが、年を取ってくると自分の生活を守るといことが、それ以上に大変なことです。そこで私は日公連、退公連の会員であることで、自分の生活を守っていくと考えています。年金額の維持や向上を目指した活動では、追加費用は昭和37年以前に職に就いた人対象の恩給期間中の保険料が27%未納とのことで、該当期間の保険料を徴収することになってしまいましたが、その減額は年金額の10%を限度とする配慮措置がなされました。また、職域加算部分、共済年金の3階部分は、平成27年10月には厚生年金と共済年金が一元化されるので廃止されませんが、平成27年10月までに年金権を得た人は、その後も新上乘せ年金として、引き続きその権利を持続できる等の要望が実現しています。

厚生労働省は、2040年までの30年間で全都道府県の人口が減り、総人口も2割近く減少、さらに65歳以上の高齢化率は3割を超えるとする推計を公表しました。つまり、若者が減り、高齢者が増えるということなのです。日本の年金システムは「世代間扶養」になっていきます。現在の日本は、少子高齢化が進み、年金を受け取る人がどんどん増えているのに、保険料を払う世代が減少の一途をたどっています。従来年金制度を大きく見直さなければならぬ状況を迎えています。「社会保障と税の一体改革」については、信頼性のある社会保障制度になるように、年金生活者の立場に立った要望活動等を行なっていく必要があります。また退公連の皆さんと協力ある長寿社会を目指すためにも、会員相互の絆を深め、支部の実態に即して、楽しみながら仲間をつくり、支部活動ができればと思っています。

年金一元化の経過および対応

【職域加算部分】の廃止と今後の課題

公務員に支給されていた3階部分（職域加算部分）は、年金の一元化によって廃止されました。しかし、施行日前に共済年金受給権を有する者については、従来通り職域加算部分を支給する（平成24年8月）と決まりましたので、職域加算額の約2万円は支給されています。しかし、平成27年10月までに民間が導入している企業年金等や公務員の退職金を一括支給だけでなく、分割年金として支給するなど論議されています。

【国民会議】とは

年金が一元化されましたが、厚生年金と共済年金との差異がありますので、それを解消するためと今後の年金のあり方について考えていく機関が「社会保障制度改革国民会議」です。

【特例水準から本来水準へ】

物価が上がったので年金も2.5%上がりました（特例水準）。現在物価が下がったので、2.5%引き下げられます（本来水準）。本年の10月から1%、平成26年4月から1%、平成27年4月から0.5%と3年がかりで差し引かれることになっています。現在は誰も差し引かれていません。

【在職老齢年金】

退職した後に再就職をします。共済年金者の場合は、年金と給与を合わせて46万円まで年金は減額されません。厚生年金者は、年金と給与を合計して、28万円を超えると年金は減額されます。この差異について国民会議で話し合っています。

【年金の財源】

厚生年金(143兆円) …	4.2年分	残金	0円(0年分)
共済年金(44兆円) …	8年分		3.6兆円(8年分)
私学共済(3.7兆円) …	9年分		5.1兆円(9年分)

— 共通年金 (4.2兆円) —		
現在	一律化	
厚生年金 16.42%	達成年度	
共済年金 15.83%		平成 29年度
私学年金 13.29%		平成 30年度
→ 18.3%へ		平成 39年度

福岡県退職公務員連盟に入会しませんか 退公連に加入しみんなの力で年金を守ろう！

退職公務員連盟の活動

退職公務員が老後を安心して豊かに暮らせるような、年金・医療・介護・福祉等の社会保障の改善を目指しています。

- ① 年金給付額の維持・向上
 - ② 高齢者の生活実態に十分配慮した医療・介護制度の改善と税制改正
 - ③ 会員相互の親睦活動と社会福祉の増進
- 上記の問題を改善するため、政府・国会へ要望・陳情・請願等を強力に進めています。

入会資格

- 正 会 員…公務員を退職した方およびその遺族
- 準 会 員…現職の公務員で目的に賛同する方
- 賛助会員…本連盟の趣旨に賛同する方

入会のお問い合わせ先

福岡県退職公務員連盟 事務局長 稲田瑞穂
TEL / FAX : 093-761-4697
までお問い合わせください。